

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第4号 畜産

発行日 平成23年6月29日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/>」

■牧草の放射性物質 モニタリング検査結果	遠野市、一関市、陸前高田市、平泉町、藤沢町、大槌町、滝沢村の7市町村の一部エリアで牧草の利用自粛等要請を継続しています。
■牧草	2番草の刈り取りは適期に、刈り取り高さに気をつけて収穫しましょう。 エゾノギシギシの防除は、結実前に行いましょう。
■飼料用 トウモロコシ	飼料用トウモロコシの獣害(クマ)対策の準備をしましょう。

1 牧草の放射性物質モニタリング検査結果

遠野市、陸前高田市、平泉町及び大槌町において、6月17日(金)に牧草の放射性物質の確認調査を実施したところ、前回調査したエリア以外の牧草は、乳用牛及び肥育牛に対する暫定許容値を下回り、牧草の利用自粛及び放牧見合わせの要請が6月21日(火)に解除されました。

○遠野市、一関市、陸前高田市、平泉町、藤沢町、大槌町、滝沢村の7市町村の一部エリアでは、牧草の利用自粛等の要請を継続しています。今後実施される調査において、再生草の放射性物質が3回連続で暫定許容値を下回ることで利用自粛の要請が解除されます。

詳しくは、以下のURL(岩手県ホームページ)をご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=32986>

2 牧草

(1) 草地管理(2番草)

ア 刈り取り時期

2番草の刈り取りは、1番草収穫後から40~55日が目安です。土壌及び牧草の水分が高く、気温の高いこの時期は、牧草が蒸れ上がり易いので、早めの刈り取りに努めます。

イ 刈り取り高さ

梅雨明け後は、日射量が急に多くなります。刈り取りの高さが極端に低い場合、地面の温度が上がり過ぎ、根が高温障害を受けやすくなります。刈り取りの高さは、10~15cmとしましょう。

ウ 追肥

施肥量は10aあたり窒素成分で5kgを目安とし、刈り取り後はできるだけ早く行います。この時期の尿散布は、肥料焼けを防ぐため、曇天や降雨前後に散布しましょう。

(2) 牧草地の強害雑草対策(エゾノギシギシ)

エゾノギシギシは、種子と根茎により繁殖し、1株あたりの種子数が多く(3~4万粒)、土中の種子も長期間発芽能力を有します。このため、「結実させない」、「根茎を切断しない」ことが重要になります。

薬剤による除草は、チフェンスルフロンメチル剤の茎葉散布が有効です。ギシギシの葉が展葉してから散布します。散布後21日間は採草及び放牧ができないこと、クローバーに薬害が出やすいので、クローバーの占有率が高い圃場での使用を控えることに留意下さい。

農薬を使用する前には必ず、ラベルを確認しましょう。

3 飼料用トウモロコシの獣害（クマ）対策

(1) 飼料用トウモロコシのクマ被害防止

近年、県内においてクマによる飼料用トウモロコシの食害が多数発生しており、クマの圃場への侵入対策として電気柵の設置が効果をあげています。バンカーサイロに対する食害対策にも効果があります。

クマは一度味をしめた作物やその場所に対して強く依存するため、近隣圃場での被害発生情報があれば、未然に防止するためにも電気柵を設置することをおすすめします。

(2) 電気柵の設置

電気柵は電気ショックを経験させて、動物の心理的バリアーを構築することにより圃場への侵入を防ぎます。物理的な柵ではないため、使用方法により効果に差が出るので、以下の基本技術を徹底しましょう。

ア 設置時期

クマはトウモロコシの子実を好んで、圃場内へ侵入します。トウモロコシの出穂前（7月下旬～8月上旬）には設置を完了します。

イ 漏電の防止

アースを確実に設置します。電気柵は草などに触れて漏電すると効果が劣り、侵入の一番の原因となります。こまめに草刈りを行うか、電牧設置場所の周囲に除草剤散布を行いましょう。また、設置後も定期的なチェックを行い、漏電による電圧低下を防止しましょう。

ウ 設置方法

2段張り、3段張りの事例がありますが、クマは地面を掘って侵入するが多いため、1番下の電気柵は地面から20cmの位置に設置します。また、圃場のくぼみの部分はポールを増設します。より効果を高める方法として、電気柵の外側にもう1つの電気柵（トリップ柵）を設置する方法があります。トリップ柵はメイン電気柵の外側30～50cm、地面から20～30cmの高さに1本設置します。（写真参照）

(3) 設置費用

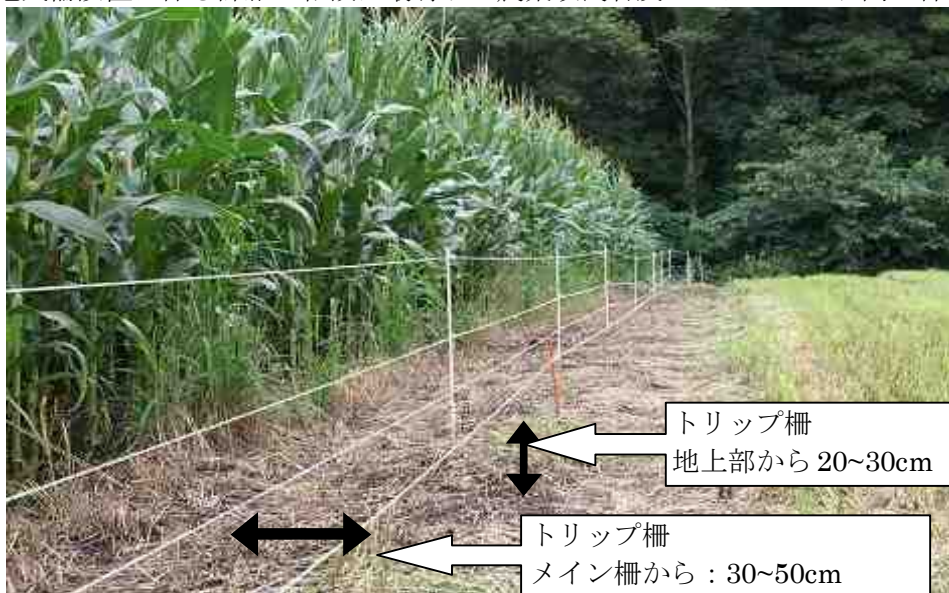
ア 外周600mの場合（2ha前後）

[電牧器（バッテリー収納型）・グラファイポール・ポリワイヤー3段、クリップ] で10万円前後

イ 外周300mの場合（1ha未満）

[電牧器（電池型）・グラファイポール・ポリワイヤー3段、クリップ] で6万円前後
支柱等、自己調達可能な資材を使用することで設置コストはさらに低減可能です。

電気柵設置に係る詳細と相談は最寄りの農業改良普及センターまでお問い合わせください。



写真：飼料用トウモロコシ畑に設置された電気柵（トリップ柵付き）（県内事例）

次号は7月28日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

**6月1日～8月31日は
農薬危害防止運動期間です**

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう